

# 原の子

平成21年3月17日(火)

(平成20年度 学校便り第17号 その1)

沼津市立原小学校

平成20年度「教育活動アンケート」にご協力いただきまして、ありがとうございました。この集計結果をもとに、校内委員会で話し合いを重ね、更に「学校評議委員会」で御意見をいただくことができました。次年度の構想も含め、この「原の子17号」でお伝えします。

○「教育活動アンケート」から

「1 学校が目指していることや取り組もうとしていることがわかりますか」では、82%の方が「わかる」という肯定的なご意見をいただきました。本校が、学校教育目標や本校ランドデザインに込めていることを、理解していただいていると思います。

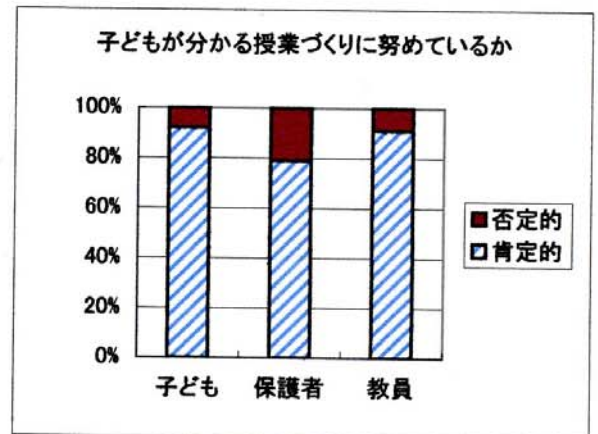
しかし、「2 特色ある学校づくりに取り組んでいると思いますか」では、「そう思う」とされた方は、63%となり、「あまりそう思わない」とされる方が26%となっています。

保護者アンケート結果(単位は%)

	よくそう思う そう思う あまり思わなそう思わない わからない				
	A	B	C	D	E
1 学校教育目標・取り組んでいることが分かるか	18	64	13	0	5
2 特色ある学校づくりに取り組んでいるか	11	52	26	2	9
3 子どもは授業が分かるか	15	57	20	4	4
4 教え方の工夫を感じるか	13	61	18	2	6
5 読書の時間は楽しみにしているか	25	39	23	3	10
6 英語の時間は楽しみにしているか	58	35	4	1	2
7 進んで読書をしているか	25	39	27	6	3
8 心を豊かにする取組を進めているか	10	59	17	2	12
9 いじめのない集団づくりに努めているか	8	49	24	5	14
10 先生方は一人一人を大切にしているか	7	42	27	6	18
11 特別支援教育の充実・配慮の必要な子への対応	10	45	15	2	28

「原小の特色?」と考えてみると、本年度、外部講師をお招きしての講話(読み聞かせ、美しい姿勢等)や、3年生以上の学年で学習している「総合的な学習の時間」において、優れた技能を持つ名人の方に教えていただいたり(4年)地域の福祉施設や幼稚園保育園等に訪問したり(6年)浮島沼の自然について詳しい方からお話をいただいたり(5年)してきました。ピオトープ等の施設だけでなく、地域の教育力を活かした多様な学習活動が組み立てられていることも大切な特色と考えています。

「4 学校は分かる授業づくりに努めていますか」では、80%の方が肯定的にとらえてくださっています。教員、子どものアンケート結果から右図のようになりました。日々の授業がこれまで以上に、「子どもが分かる授業」となるよう、これからも努めていきます。



「7 読書をする習慣が付いていますか」では、ぐっと肯定的意見が減っています。朝8:00~8:15の読書時間がありますが、読書する本が毎日変わってしまう子や、この時間だけで、家では読まない子もいるようです。原小では、この「読書の時間」を大切に、子どもたちが興味を持てる本の購入や、読書にかかわる講話の会、今までご協力いただいている「読み聞かせ」の時間を充実していきたいと考えています。子どもの豊かな心をはぐくむ上で欠かせない読書時間を学校、家庭でも確保していきたいものです。

